

0 世界史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問 A～C に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

19世紀後半のアメリカ合衆国は、ヨーロッパから大量の移民を受け入れ、広大な国内市場、豊富な資源を活用し、19世紀末には世界最大の工業国となった。増大する国力を背景にアメリカは1889年、パン＝アメリカ会議¹⁾を開催して、ラテンアメリカ諸国²⁾との関係強化をはかり、1898年にはキューバの独立問題をめぐる戦争の結果、フィリピン、グアムなどの領有が認められた。フィリピンでは、民族意識の覚醒を促し、フィリピン民族同盟を結成した民族運動家（イ）の強い影響を受けたアギナルドラが、共和国の樹立を宣言した。しかしアメリカはこの独立運動を厳しく弾圧し、フィリピンを植民地にした。キューバは独立を果たしたものの、いわゆる「あ」³⁾条項により、事実上アメリカの保護国となった。アメリカはまた、キューバの独立問題をめぐる戦争中に、ハワイ⁴⁾を併合した。

一躍西太平洋における有力国として出現したアメリカは、中国市場⁴⁾に対する関心を深め、（ロ）政権の國務長官は門戸開放宣言をおこなった。この宣言を通じて、アメリカは中国市場の門戸開放・機会均等・「い」を提唱し、中国分割を進める列強を牽制した。中国では外国勢力の侵略に対して、康有為、（ハ）⁵⁾を中心に立憲君主政にもとづく政治制度の導入を求める改革運動が起こったが、保守派の巻き返しで失敗した。康有為と（ハ）は失脚し、日本に亡命した。

アメリカは20世紀初頭、セオドア＝ローズヴェルト政権下でも積極的な外交を進めた。ローズヴェルトは、パナマ⁶⁾を「う」から独立させて、パナマ地峡に運河を建設する権利を得るとともに、カリブ海地域に対する武力干渉を展開した。ローズヴェルトはさらに、日露戦争の講和を調停し、アメリカの影響力を示した。

⁷⁾国際社会で重要性を増すアメリカの力が十分に発揮されたのが、第一次世界大戦においてであった。（ニ）大統領は当初、中立を守ったが、英仏を中心とする連合国を経済的・金融的に支えた。その後アメリカは連合国の一員としてドイツ⁸⁾に宣戦し、大軍をヨーロッパ大陸に派遣した。（ニ）は1918年、14カ条の平和原則を発表し、秘密外交の廃止、海洋の自由、軍備縮小、国際的な平和機構の設立などを提案した。この14カ条の平和原則にもとづき、史上初めて大規模な国際機構である国際連盟が設立された。アメリカはまた、ロシアに誕生したソヴィエト政権⁹⁾を警戒し、他の列強と共同で干渉戦争に踏み切った。

第一次世界大戦後のアメリカは世界最大の経済力に加え、イギリスと並ぶ金融大国となり、ニューヨーク¹⁰⁾の（ホ）はロンドンのシティとともに世界金融の中心となった。こうしてアメリカは、ヨーロッパ、東アジア・太平洋の新たな秩序づくりに重要な影響力を振るうことになる¹¹⁾。

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<う>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

<あ> a. クーリッジ b. ハーディング c. プラット d. マーシャル

<い> a. 最恵国待遇 b. 内政不干渉 c. 平等互惠 d. 領土保全

<う> a. コロンビア b. スペイン c. ベネズエラ d. ポルトガル

C. 文中の下線部 1)～11)にそれぞれ対応する次の問 1～11に答えよ。

1. この頃、アメリカの石油産業を実質的に支配した人物の名をしるせ。

2. アメリカがラテンアメリカ諸国とともに、共産主義の侵入防止を主目的に1948年に設立した地域的組織の名をしるせ。

3. やがてアメリカ議会ではフィリピンの独立を承認する法案が成立する。その時のアメリカ大統領の名を次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アイゼンハウアー b. トルーマン
c. フーヴァー d. フランクリン＝ローズヴェルト

4. ハワイは、18世紀後半、探検家クックが来航したことによって欧米に知られるところとなった。彼のハワイ来航以降に行われた探検を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. タスマンのオーストラリア探検
b. バルボアのパナマ地峡探検
c. ヘディンの中央アジア探検
d. ベーリングのカムチャツカ探検

5. 広州湾を中心に広東西部と広西地方を勢力範囲に収めた国の名をしるせ。

6. セオドア＝ローズヴェルトの大統領在任中の出来事として正しいものを、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アメリカ労働総同盟が結成された
b. シャーマン反トラスト法が成立した
c. 西部開拓の進展により、フロンティアが消滅した
d. ライト兄弟がプロペラ機による飛行に成功した

7. 日露戦争後、政情不安が深まるロシアで首相に就任し、農村共同体（ミール）の解体などの内政改革を推進したものの、暗殺された政治家の名をしるせ。

8. 第一次世界大戦中のドイツに関する記述として正しいものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 戦争の長期化に伴い、軍部独裁体制が成立した
 - b. 戦争勃発後、オスマン帝国とルーマニアがドイツ側にたって参戦した
 - c. ドイツ社会民主党は戦時公債に反対するなど、反戦を貫いた
 - d. ドイツ領南洋諸島はイギリス海軍によって占領された
9. 国際連盟に関する記述として正しいものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカは当初、加盟を拒否したが、後に加盟した
 - b. 国際平和の維持のために、集団安全保障の原理を採用した
 - c. ソ連はポーランドを侵攻したことを理由に、除名された
 - d. 連盟規約に違反する国家に対する制裁規定はなかった
10. ソヴィエト政権は「平和に関する布告」を発表したが、この布告の具体的な内容について 1 行でしるせ。
11. これに関連する記述として正しくないものを、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカはドイツの賠償金支払いの軽減を進めた
 - b. アメリカは日本、イギリスとともにロンドン海軍軍縮条約に調印した
 - c. アメリカは西ヨーロッパ諸国とともにロカルノ条約に調印した
 - d. 不戦条約はアメリカとフランスの提唱が発端であった

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

イスラーム教はムハンマドが40歳のころ、神の啓示を受けたことに始まる。当初、ムハンマドは、大商人による富の独占を批判したために迫害を受け、一時的にメディナへの移住を余儀なくされる。これをヒジュラ¹⁾という。しかしその後、ムハンマドはメッカを征服し、(イ)をイスラーム教の聖殿とした。ムハンマドの死後にまとめられた『コーラン(クルアーン)』は、イスラーム法(シャリーア)の基盤である。イスラーム法には、神や天使などムスリムが信じるべきことと、信仰告白や礼拝などムスリムが行わなければならない²⁾ことが規定されている。

イスラーム世界は、先行する文明の遺産を受け継ぎつつ、イスラーム教とアラビア語を基盤とする自らの文化、学問を育てていった。『コーラン』には、旧約聖書と共通する挿話も多く、ユダヤ教などの先行する一神教の系譜にイスラーム教があることを示している。このことは、「(ロ)の民」に信仰の自由が認められたことにもみとれる。

正統カリフ時代、第4代カリフが暗殺されると、ムアーウィヤによってウマイヤ朝³⁾が開かれた。その首都に建設されたウマイヤ・モスクは、現存する最古のモスク⁴⁾である。その壁面モザイク画には、ギリシア、ローマの先行文化の影響がみられ、これは初期イスラーム時代の造形文化の特徴のひとつである。

ウマイヤ朝ではアラブ人優先の政策がとられたが、アッバース朝では、イラン人を中心としたくあも要職につくことができるようになり、しだいにアラブ人の特権は失われていった。一方、『幾何学原本』の著者でギリシアの数学者(ハ)の成果など、ヘレニズム世界で培われた学問も、イスラーム世界に受け継がれていった。アッバース朝第5代カリフ(ニ)はイスラームの学芸・文化の黄金時代を築き、アナトリアから持ち帰られた写本をアラビア語に翻訳させた。その息子、第7代カリフのマームーンも科学技術の振興に尽力し、バグダードにくいと呼ばれる研究所を設立した。この研究所では、医学、天文学、幾何学、光学、地理学などのギリシア語文献がアラビア語へ翻訳された。イスラーム世界の人々は、翻訳された文献から得られた知識の精度を、臨床や観測、実験を行うことでさらに高めていった。

イスラーム世界の神学者たちは、ギリシア哲学の中でもとくにアリストテレスの哲学を⁵⁾熱心に研究した。アリストテレスは、(ホ)によって、その息子アレクサンドロスの教育係に迎えられたことでも知られる哲学者である。ムワッヒド朝に仕えた哲学者(ヘ)は、⁷⁾アリストテレスの著作の注釈本を作成した。この注釈本が中世西欧のアリストテレス研究の主要な典拠となり、中世スコラ哲学の形成に影響を与えたことが知られ⁸⁾

ている。このようにアリストテレスの学問体系は、イスラームの学問を経て、その後のヨーロッパの学問にも影響を与えていったのである。

イスラーム世界はギリシア科学を継承すると同時に、ペルシアを征服することによって、インドの文化とも接触していった。マムーン⁹⁾の時代には、インドの天文学書等も翻訳され、その成果がイスラーム世界にもたらされた。数学の分野からいえば、インド式計算法を伝える算術書を書き、代数学の基礎を築いた<う>の著作は、ラテン語に翻訳され、その成果はヨーロッパへ伝えられた。イスラーム世界は、グプタ朝で生み出された記数法である<ト>、そしてゼロの概念を取り入れて、独創的な成果をあげていった。現在、私たちが使っているアラビア数字も、インドから伝わりイスラーム世界で完成され、その後、ヨーロッパで普及したものである。

A. 文中の空所(イ)～(ト)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<う>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

<あ> a. アミール b. ジンミー c. マムルーク d. マワーリー

<い> a. 知恵の館 b. ニザーミーヤ学院 c. マドラサ d. ムセイオン

<う> a. イブン＝シーナー b. ウマル＝ハイヤーム

c. タバリー d. フワーリズミー

C. 文中の下線部 1)～9)にそれぞれ対応する次の問 1～9 に答えよ。

1. ヒジュラが起こった年は西暦で何年か、次の a～d から 1つを選び、その記号をマークせよ。

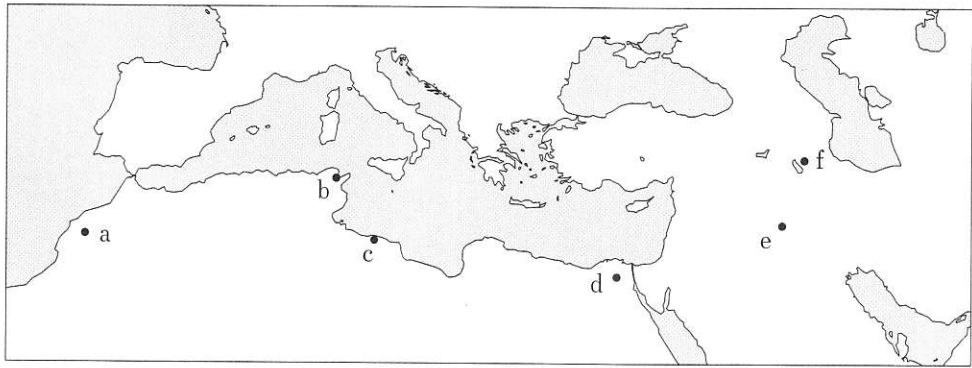
a. 610年 b. 622年 c. 630年 d. 632年

2. これを何というか、漢字 4 文字でしるせ。

3. 初代正統カリフの名を次の a～d から 1つを選び、その記号をマークせよ。

a. アブー＝バクル b. アリー c. ウスマーン d. ウマル

4. ウマイヤ朝に関する記述として正しくないものを、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ウマイヤ朝は、フランク軍に大敗した
 - b. ウマイヤ朝は、シーア派王朝だった
 - c. ウマイヤ朝は、ダマスカスを首都とした
 - d. ウマイヤ朝は、西ゴート王国を滅ぼした
5. 10世紀以後のイスラーム世界では、都市の職人や農民のあいだにスーフィズムが盛んとなる。スーフィズムとは何か、神秘主義の信仰の特徴から1行でしるせ。
6. アリストテレスが師とした人物で、理想の社会像を『国家』に著したのは誰か、その名をしるせ。
7. ムワッヒド朝の首都を、次の地図中の a～f から1つ選び、その記号をマークせよ。



8. 中世スコラ学者で実在論を主張した人物を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アベラール
 - b. アルクイン
 - c. アンセルムス
 - d. ウィリアム＝オブ＝オッカム
9. グプタ朝に関する記述として正しいものを、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. カニシカ王の時代に最盛期を迎えた
 - b. 戯曲『シャクンタラー』がつくられた
 - c. サムドラグプタによって創始された
 - d. 『仏国記』を著した法顕が、チャンドラグプタ1世の時代にインドを訪ねた

【以下余白】